

都市再生整備計画 事後評価シート  
仁木町市街地地区

平成29年2月

北海道仁木町

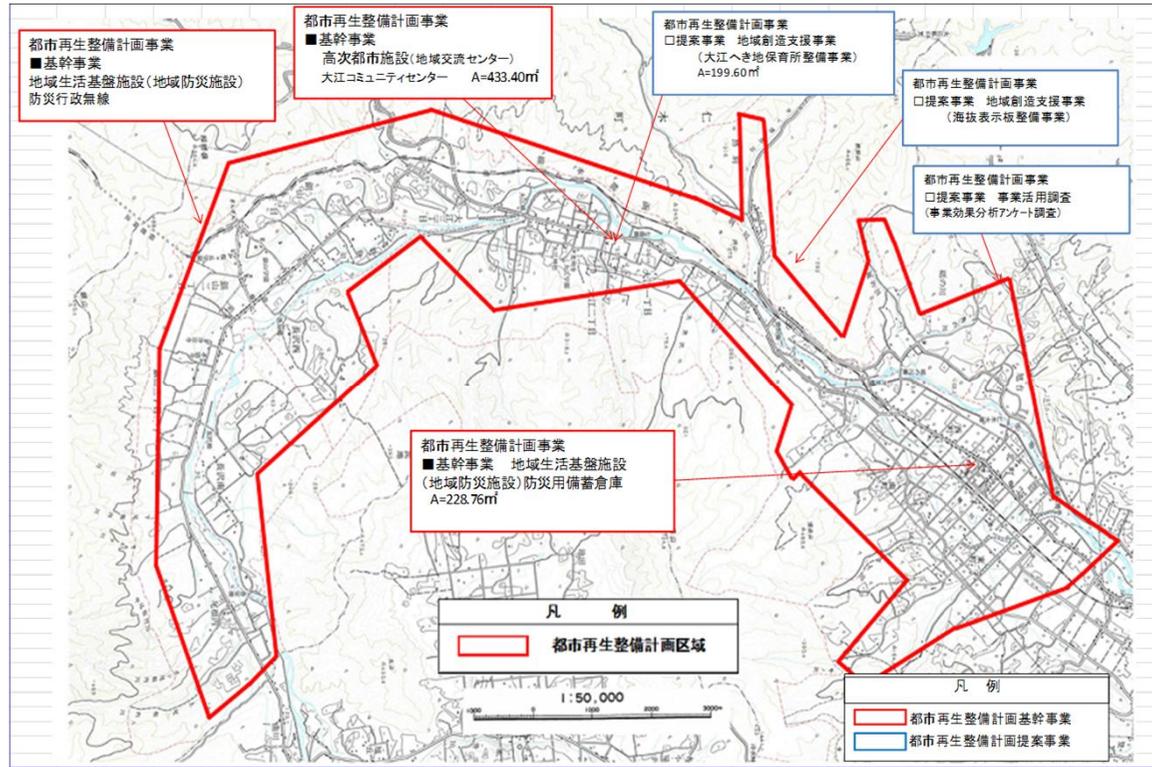
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	仁木町		地区名	仁木町市街地地区			面積	560ha
交付期間	平成26年度～28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	538.2	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設-地域防災施設(防災行政無線、防災用備蓄倉庫)、高次都市施設(大江コミュニティセンター)								
		提案事業	地域創造支援事業(大江へき地保育所整備事業、海拔表示板整備事業)、事業活用調査(事業効果分析アンケート調査)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業									
		提案事業									
	新たに追加した事業	基幹事業									
		提案事業									
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	防災情報伝達の評価	%	27.98 H21	75.00 H28		75.45	○	ありなし	防災行政無線を整備したことにより、住民からの評価向上につながった。	
	指標2	防災訓練の参加率	%	22.23 H25	25.00 H28		30.88	○	ありなし	本計画の各種事業を実施したことによる相乗効果で、防災意識が高まった。	
	指標3	コミュニティ活動・交流の推進の評価	%	27.38 H21	33.58 H28		41.67	○	ありなし	大江コミュニティセンターの整備を図ることにより、住民からの評価向上を図ることができた。	
	指標4								ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況											
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		社会資本整備総合交付金事業に関するアンケートで、同事業に対する町民の評価、意見を聴取し、確認した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● まち・ひと・しごと創生有識者会議(年1回開催)や総合計画審議会等で住民の意見を聴取する。		
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式2-2 地区の概要

### 仁木町市街地地区(北海道仁木町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:安心と安全を確保し、誰もが快適な生活ができるまちづくり 目標①:災害時の迅速かつ的確な通報伝達システムを構築する 目標②:防災拠点等を整備し、地域防災力の強化を図る 目標③:ふれあいや交流を通じた協働のまちづくり	防災情報伝達の評価	単位: % 27.98 H21	75.00 H28	75.45 H28
	防災訓練の参加率	単位: % 22.23 H25	25.00 H28	30.88 H28
	コミュニティ活動・交流の推進の評価	単位: % 27.38 H21	33.58 H28	41.67 H28
		単位: H	H	H
		単位: H	H	H



まちの課題の変化

- ・防災行政無線を整備したことにより、即時に効率がよい通報伝達システムの構築を達成することができた。
- ・大江コミュニティセンターを整備し、大江地区の拠点となる避難所とすることで、防災機能の向上が図られた。
- ・防災用備蓄倉庫を整備したことにより、北海道から配備される原子力防災資機材等を格納することができた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・本事業により、仁木地区及び大江地区に防災用備蓄倉庫が整備されたため、銀山地区にも防災用備蓄倉庫の整備を検討する。